



TITLE:

最近の改暦運動だより

AUTHOR(S):

CITATION:

最近の改暦運動だより. 天界 1935, 16(175): 8-8

ISSUE DATE:

1935-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167135>

RIGHT:

最近の改暦運動だより

ジュネーヴにある国際聯盟文化部では、さきに1931年十月の委員会で改暦問題を討議したに拘らず、各國委員の意見區々に別れ、遂に1933年元旦より改暦實行を豫定の如く實現するに至らなかつたが〔天界 126, 127, 128, 130〕、しかし其後、各國に於いて改暦運動や研究が決して止んだわけではない。

最近、米國ニウヨーク市の世界曆協會 (World Calendar Association) から同會長 E. Achelis 女史の名で、全世界にゐる國際天文同盟の各メンバーへ改暦問題に關する質問狀が發せられた。其れが花山の山本臺長へ届いたのは去る八月26日であるが、臺長は下の如き返事を發送された。

(第1問) 現行曆の改正に賛成なりや?

(答) とにかく改正するを要す。

(第2問) 世界曆協會に國際聯盟に提案せる案(12ヶ月案)に賛成なりや?

(答) 賛成なり。但し之れが最良の曆なりとの意味に非ず。只、現行曆を改むるに際し、今全世界の賛成を得るは此の程度のものを最も適當と信ずるのみ。

(第3問) 此の案はかの13ヶ月案(ロマ法王廟あたりで一般に不賛成なるもの)に比し、簡單にして、採用し易しと信ずるや?

(答) 最良の理想的な曆法は13ヶ月案なれど、之れは現在の各國大衆のためには餘りに高尚にして、優遇過ぐる感あり。之れが全世界の賛成を得るためには少くとも今後二三百年の後なるべし。

以 上

◆◆ 寄稿者の紹介 ◆◆ 天界十一月號 (175號)

★ 横地石太郎氏 (四十年前の日食體驗錄)

漱石著「坊ちやん」に出る赤シャツ先生であつて、現在京都市左京區吉田二本松に隱棲されて居る。

★ 伊達英太郎氏 (日食觀測の經驗)

大阪心齋橋筋の履物店舗主人、熱心なる素人天文家、A. A. R. 天文研究會を創設し、機關誌「Milky Way」を發行す。(現住所 兵庫縣川邊郡雲雀ヶ丘)

★ 莊野義雄氏 (凹面鏡の鍍銀に就いて)

本會々員 (現住所 兵庫縣本山村北畑 505, 黒崎方)